

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成14年3月18日 第49報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体系数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Anabaena sp.*</i>	1		
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	45		
(黄鞭) <i>Dinobryon cylindricum</i>	30		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	52		
(黄鞭) <i>Dinobryon sociale var. americanum</i>	17		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion conicum</i>	20		
(黄鞭) <i>Ochromonas sp.</i>	20		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	1500		
(珪) <i>Diatoma vulgare</i>	3		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	160		
(珪) <i>Cymbella turgidula</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	140		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	20		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	20		
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	16		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	4		
(藍) 藍藻綱	1	0.0	0.4
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	204	9.7	33.1
(珪) 珪藻綱	1693	80.3	43.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	0.5	0.2
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	7.6	19.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	40	1.9	3.7
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2108	総体積	1.25E+06
種類数	19	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体系数(群体/ml)
注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	240

第2優占種	個体数 (個体/l)
繊毛虫類 <i>Tintinnidium fluviatile</i>	180

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

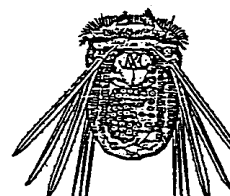
植物プランクトン第1優占種



Cyclotella glomerata
(ヒメマルケイソウ)
珪藻綱

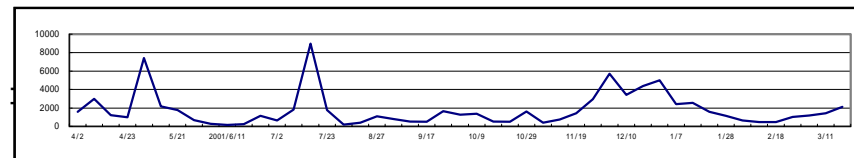
殻面は円形で、その直径は4~10 μm と小さい。
多数が鎖状に結合して群体をなす。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。



コメント: 本年度の植物プランクトン総細胞数の変動は図のようになった。ウログレナ、ケラストルム、ウログレナの増加が見られた時に大きな細胞数となった。